

※撮影時は感染症対策を万全にし、一時的にマスクを外しています。

## 手書きの言葉に思いを込めて 郵便局長による 手紙の書き方教室が開催

12月、市内小中学校で「手紙の書き方教室」が開催されました。この教室は、市内郵便局の局長が学校を訪問し、手紙を書く楽しさや、正しい書き方を教える出前授業です。今年度は府中中、園部中、府中小の3校で実施されました。

インターネットが普及した時代だからこそ感じる、手書きの文章で思いを伝える魅力を学んだ児童、生徒の皆さん。授業の最後には、大切な人へ心を込めた年賀状を送りました。



▲府中小学校での授業の様子



▲ツアーの最後には谷島市長から歓迎の挨拶があり、文京区ふるさと友の会会員と記念撮影を行いました。

## 文京区との交流を深める 石岡市歴史ボランティアの会 による歴史散策ツアー

文京区ふるさと友の会の会員41人を対象に、石岡市の歴史や建築物を一周するツアーが開催されました。看板建築や常陸國總社宮、石岡小学校校内の国衙跡や陣屋門など市街中心部を巡り、歴史に対する理解を深めました。参加者は「石岡市は文京区から比較的訪問しやすい場所に位置しているが、実際に来てみたのは初めて。後日家族や友人ともう一度訪問し、今日学んだことを広めたい」と感想を話してくれました。

## 医療職を目指すきっかけに 東成井小学校で石岡市出身の 医師による出前授業

5・6年生を対象に、市出身で筑波メディカルセンター病院の医師である鈴木潤一先生の出前授業が行われました。授業では、先生が医師を目指したきっかけなどの話のほか、連想ゲームをとおして医師が病気を探る仕事の体験をしました。児童は話を熱心に聴いている様子で、時折、拍手や笑い声が沸き起こりました。先生からは「周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、自分がいいと思う職業を目指してほしい」との熱いメッセージが送られました。



▲講師を務めた筑波メディカルセンター病院の鈴木潤一先生と東成井小学校の5・6年生。



▲講師を務めたキャリアコンサルタントの宮内利亮さんは小桜小学校の卒業生。地元への深い愛着を抱いています。

## 卒業生が母校の児童へエール 小桜小学校で6年生を対象に キャリア教育教室

教室では同校の卒業生であるキャリアコンサルタントの宮内利亮さんからキャリア（人生）の描き方を学びました。将来、働く上で大切なのは「やりたいこと」を見つけることですが、児童にとっては難しいことです。そこで宮内さんは「自己理解」を深める重要性を伝え、児童の考察を支援しました。授業の最後に伝えられたのは「自分の好きなことを好きと言おう」「個性を認め合おう」ということ。児童は積極的に意見を述べ、教室には未来を見つめた笑顔があふれていました。

## ゼロカーボンシティ達成に向けて エネルギー地産地消 に関する包括連携協定を締結

霞台厚生施設組合・石岡市・小美玉市・かすみがうら市・茨城町・日立造船株式会社は、脱炭素社会の実現に向けて包括連携協定を締結しました。この協定を結ぶことにより、霞台クリーンセンターみらいで発電した電力を構成市町の公共施設などへ供給することが可能となります。

この電力を使用する公共施設の電力はすべてゼロカーボンとなり、市では教育施設で使用する電力に充てる予定となっています。



▲（写真左から）三野取締役社長（日立造船株）、宮嶋市長（かすみがうら市）、谷島市長（石岡市）、島田市長（小美玉市）、小林町長（茨城町）



▲谷島市長、櫻井消防団長、鈴木消防長が見守る中、御幸通りを進む消防車両。

## 令和5年石岡市消防出初式 3年ぶりに消防車両が 御幸通りをパレード

1月7日、新春を飾る令和5年石岡市消防出初式が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年以降は人員服装点検や式典のみを行ってききましたが、今年は3年ぶりに消防車両のパレードや分列行進などが実施され、多くの市民が見物に訪れました。

パレードを見に集まった子供たちは、消防本部や消防団の車両が通り過ぎるたびに大きな声援を送っていました。